



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 東急株式会社 上場取引所 東
コード番号 9005 URL <https://www.tokyu.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀江 正博
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計グループ (氏名) 大澤 勇紀 (TEL) 03-3477-6168
連結IR課長
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	483,468	11.2	45,533	108.6	49,688	101.0	35,029	89.5
2023年3月期第2四半期	434,693	△1.9	21,823	△12.5	24,725	△7.1	18,480	△23.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 49,748百万円(45.1%) 2023年3月期第2四半期 34,274百万円(10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 57.85	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	30.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 2,590,220	百万円 795,807	% 29.1
2023年3月期	2,614,012	779,372	28.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 753,786百万円 2023年3月期 740,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 15.00
2024年3月期	—	7.50			
2024年3月期(予想)			—	10.00	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,039,500	11.6	85,000	90.6	88,000	85.8	54,000	107.7	89.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	624,869,876株	2023年3月期	624,869,876株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	26,187,309株	2023年3月期	10,210,452株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	605,474,896株	2023年3月期2Q	602,572,697株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口及び役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2024年3月期第2四半期 : 1,225,400株 2023年3月期 : 1,680,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2024年3月期 第2四半期 決算概況資料」は、本日(2023年11月8日)、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年11月9日に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。

当日使用する資料につきましては、同日、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにて掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行等により、交通事業やホテル・リゾート事業を中心に、利用者数の回復が見られたことに加え、鉄道の運賃改定などにより、営業収益は4,834億6千8百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は455億3千3百万円（同108.6%増）、経常利益は496億8千8百万円（同101.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法投資利益の増加などにより、350億2千9百万円（同89.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、東急電鉄㈱の輸送人員は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことなどによる外出機会の増加や、2023年3月に開業した東急新横浜線の開業効果などにより、定期・定期外ともに前年を上回り、定期で6.3%増加、定期外で8.3%増加し、全体では7.2%の増加となりました。また、運賃収入は輸送人員の回復に加え、2023年3月18日に実施した運賃改定の効果などにより、定期で16.9%増収、定期外で25.2%増収し、全体では21.9%の増収となりました。

この結果、営業収益は1,038億6千6百万円（同17.7%増）、営業利益は187億5百万円（同277.4%増）となりました。

(東急電鉄㈱の鉄軌道業の営業成績)

種別		単位	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
			2022. 4. 1～2022. 9. 30	2023. 4. 1～2023. 9. 30
営業日数		日	183	183
営業キロ程		キロ	104.9	110.7
客車走行キロ		千キロ	73,989	78,215
輸送人員	定期外	千人	216,521	234,576
	定期	千人	274,248	291,555
	計	千人	490,769	526,131
旅客運輸収入	定期外	百万円	35,349	44,256
	定期	百万円	23,537	27,511
	計	百万円	58,886	71,767
運輸雑収		百万円	7,141	7,053
収入合計		百万円	66,027	78,829
一日平均旅客運輸収入		百万円	322	392
乗車効率		%	42.0	42.8

(注) 乗車効率の算出方法
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、不動産販売業における物件販売や、不動産賃貸業が好調に推移したことに加え、ホテルの客室平均単価の改善などにより、営業収益は、1,131億1千1百万円（同20.7%増）、営業利益は196億8百万円（同31.7%増）となりました。

③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、㈱東急百貨店において、前年度の本店営業終了に伴い減収となったものの、㈱東急ストアや㈱東急レクリエーション等、他事業での需要回復等により、営業収益は2,567億7千2百万円（同2.5%増）、営業利益は54億2千2百万円（同24.8%増）となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、都心エリアのホテルを中心にインバウンド需要の取り込みなどによる、利用者数の回復があり、ホテルの稼働率は75.6%（前年同期比+10.9ポイント）、客室平均単価は20,508円（同+6,587円）となりました。この結果、営業収益は、436億2千7百万円（同40.5%増）、営業利益は、16億円（前年同期は25億6千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、2兆5,902億2千万円（前期末比237億9千1百万円減）となりました。

(負債)

負債は、有利子負債（※）が1兆2,735億6千4百万円（同139億5千4百万円減）となり、1兆7,944億1千2百万円（同402億2千7百万円減）となりました。

(純資産)

純資産は、自己株式の取得があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、7,958億7百万円（同164億3千5百万円増）となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績等を踏まえ、前回発表時の予想（2023年8月8日公表）から、営業収益10,395億円（前回予想比0.6%増）、営業利益850億円（同9.0%増）、経常利益880億円（同12.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益540億円（同20.0%増）に変更しております。

また、業績予想の修正をふまえ、期末配当についても前回発表時の予想から修正し、1株あたり17円50銭（中間配当金7円50銭、期末配当金10円00銭）となる見込みであります。

業績予想および期末配当予想の詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」及び「2024年3月期 第2四半期 決算概況資料」をご参照ください。

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年8月8日発表）	百万円 1,032,900	百万円 78,000	百万円 78,200	百万円 45,000	円 銭 74.74
今回修正予想（B）	1,039,500	85,000	88,000	54,000	89.65
増減額（B－A）	6,600	7,000	9,800	9,000	
増減率（％）	0.6	9.0	12.5	20.0	
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	931,293	44,603	47,369	25,995	42.94

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,342	40,132
受取手形及び売掛金	160,746	148,092
契約資産	12,566	10,476
商品及び製品	9,140	9,079
分譲土地建物	109,622	118,358
仕掛品	3,113	5,634
原材料及び貯蔵品	8,789	8,863
その他	50,562	52,363
貸倒引当金	△1,584	△852
流動資産合計	422,300	392,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	812,185	860,037
機械装置及び運搬具（純額）	81,853	79,560
土地	723,020	724,774
建設仮勘定	190,205	134,705
その他（純額）	23,429	26,338
有形固定資産合計	1,830,693	1,825,415
無形固定資産		
投資その他の資産	38,674	38,533
投資有価証券	226,392	242,434
退職給付に係る資産	10,382	10,532
繰延税金資産	20,071	15,569
その他	65,598	66,364
貸倒引当金	△100	△777
投資その他の資産合計	322,344	334,123
固定資産合計	2,191,712	2,198,073
資産合計	2,614,012	2,590,220

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,887	87,779
短期借入金	423,036	430,828
コマーシャル・ペーパー	30,000	-
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払法人税等	5,832	11,887
契約負債	43,148	48,801
引当金	12,300	12,443
前受金	10,159	12,504
その他	118,690	94,184
流動負債合計	769,056	718,429
固定負債		
社債	320,000	360,000
長期借入金	489,483	462,736
引当金	2,520	2,392
退職給付に係る負債	42,760	40,631
長期預り保証金	137,754	137,775
繰延税金負債	15,336	15,389
再評価に係る繰延税金負債	4,881	4,881
その他	47,826	48,411
固定負債合計	1,060,563	1,072,217
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	5,020	3,765
負債合計	1,834,639	1,794,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	123,329	123,363
利益剰余金	471,348	501,752
自己株式	△17,329	△46,489
株主資本合計	699,074	700,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,698	19,771
繰延ヘッジ損益	1,151	1,034
土地再評価差額金	5,196	5,194
為替換算調整勘定	13,968	21,970
退職給付に係る調整累計額	5,531	5,465
その他の包括利益累計額合計	41,546	53,435
非支配株主持分	38,751	42,021
純資産合計	779,372	795,807
負債純資産合計	2,614,012	2,590,220

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年9月30日）
営業収益	434,693	483,468
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	307,355	328,176
販売費及び一般管理費	105,514	109,758
営業費合計	412,869	437,935
営業利益	21,823	45,533
営業外収益		
受取利息	190	304
受取配当金	705	748
持分法による投資利益	4,629	6,953
その他	4,246	3,045
営業外収益合計	9,773	11,052
営業外費用		
支払利息	4,248	4,289
その他	2,623	2,607
営業外費用合計	6,871	6,896
経常利益	24,725	49,688
特別利益		
固定資産売却益	351	26
工事負担金等受入額	1,555	280
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,255	1,255
投資有価証券売却益	1,093	858
その他	139	152
特別利益合計	4,394	2,573
特別損失		
工事負担金等圧縮額	1,128	227
固定資産除却損	391	1,465
その他	941	493
特別損失合計	2,461	2,186
税金等調整前四半期純利益	26,658	50,076
法人税等	7,551	14,428
四半期純利益	19,106	35,647
非支配株主に帰属する四半期純利益	626	618
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,480	35,029

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	19,106	35,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	3,373
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	9,240	6,756
退職給付に係る調整額	461	△100
持分法適用会社に対する持分相当額	5,562	4,070
その他の包括利益合計	15,167	14,100
四半期包括利益	34,274	49,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,355	46,918
非支配株主に係る四半期包括利益	3,918	2,829

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、16,524,300株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が29,160百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が46,489百万円となっております。

（追加情報）

（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方）

前連結会計年度の有価証券報告書における（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	86,432	76,203	242,970	29,087	434,693	—	434,693
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,804	17,481	7,586	1,964	28,837	△28,837	—
計	88,237	93,684	250,557	31,051	463,530	△28,837	434,693
セグメント利益又は損失 (△)	4,955	14,887	4,346	△2,566	21,623	200	21,823

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額200百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	101,912	92,387	248,831	40,336	483,468	—	483,468
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,953	20,724	7,941	3,290	33,909	△33,909	—
計	103,866	113,111	256,772	43,627	517,377	△33,909	483,468
セグメント利益	18,705	19,608	5,422	1,600	45,337	196	45,533

(注) 1. セグメント利益の調整額196百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。